

2016年11月13日

関鉄西日本全車両に火薬探知機とX線探知機を設置します。

関鉄西日本
神速重工
ANSOK
SECON

関鉄西日本では、11月12日に届いた爆破予告を受け、火薬探知機とX線探知機を全車両及び全駅の改札口に設置することを決定いたしました。

このシステムは、神速重工、ANSOK、SECONと共同開発しています。

火薬探知機とX線探知機を全車両の乗降扉付近に設置します。火薬を含む手荷物等を車内や駅構内に持ち込んだ場合、警報音が鳴り、付近の全列車を緊急停止させます。また、同時に付近の警察署に自動的に110番通報するシステムを導入します。

2016年11月下旬以降に製造する列車に標準装備いたします。また、2017年春頃より順次、営業車両全車に搭載いたします。全列車への搭載終了見込みは、2018年秋頃を予定しています。

この度は、ご迷惑をお掛け致しました。

今後は、さらなる安全性・信頼性を向上するために対策を進めていく方針です。